

広報

とびこ



2008

4

April

- **平成 20 年度
町政執行方針・教育行政執行方針**
- **総合計画審議会がスタート**

「ありがとうございました」6年間過ごした校舎へ別れ 3月18日・当別小学校卒業式

町政 執行 方針



3月7日から開催された第2回定例町議会で、泉亭町長と高橋教育長から、平成20年度の町政および教育行政の執行方針が述べられましたのでお知らせします。

平成20年度は、町第4次総合計画(H11～20)と当別町行財政システム再構築プラン(H17～H20)の最終年度。

町財政は、国の経済情勢を反映して、依然、厳しい行財政運営を強いられています。住民にとって本当に必要とされるような施策の推進のため、当別町が直面している難局に正面から向き合い、町民の協力を得ながら、財政再建の苦しみの中から真の基礎自治体として確固たる存在感を示すべく改革の続行に努めます。

■住民参加の推進

住民協働のまちづくりには、行政情報が住民と行政の間で共有されること、また、行政の計画策定にあたっては、住民の参画を積極的に募ることが重要です。

平成21年度からの次期総合計画の策定では、町民アンケート調査、町民によるまちづくり検討会議、セミナーの開催など早い段階から住民参画を図りましたが、今後も住民と行政との情報の共有化による住民参画を図ります。

■事務事業の見直し

町の事務事業を町民の目線から評価する政策評価を継続し、個々の事務事業が本当に必要か、手法はこれで良いかなどを町民と一緒に考えます。

地域と行政がこれまで以上に協力し合い、情報が相互に交わされ協働のまちづくりが推進できるよう、引き続き行政推進員制度の見直しを進めます。

高齢化が進行し、町内会組織の運営が立ち行かなくなる地域が生じないように、住民との意思疎通を図り、住民と行政が一体となったまちづくりを進めます。

■行政組織の見直し

民間委託の推進や、施設・業務の統廃合を進める一方、新たな行政課題や多様化する住民ニーズに即応する施策を総合的、機能的に展開できるよう、引き続き行政組織の見直しを図り、「定員管理適正化計画」に基づき、職員数の削減を図ります。

■財政基盤の健全化

平成17年度からの行財政システム再構築プランを基本に、財政の健全化に取り組みましたが、平成20年度も、依然として厳しい財政事情の中で、効率的な財政運営を行うため、歳入・歳出の全てを再検証し、予算編成を行いました。



真に必要な事業や新たな行政需要に対しては、小額の事業でも、重点的に予算を配分しました。

投資的事业は、コスト縮減に努めましたが、必要な予算の収支不足を解消するため、引き続き町長はじめ職員の人件費 1 億 5 百 30 万円を削減しました。

町の一般会計、特別会計、企業会計全において財政の健全化・合理化を着実に推進できるよう取り組みます。

【重点施策】

●美しいまちづくり

景観づくりは、環境づくりにつながるものであり、継続して取り組んできました。



その結果、町民の景観意識は着実に高まりをみせ、町内各地域で様々な取り組みがされ、「美しいまち当別」の実現に向けて着実に歩みを進めています。今後も景観形成基本計画に基づき、住民、企業、行政が協働して各種景観施策を円滑に実施できるよう、国や北海道との調整等、サポート体制を強め、美しい環境づくりに努めます。

移住促進事業は、町の地理的優位性、豊富な農産物、スウェーデンヒルズや優良田園住宅等の个性的な住宅地などを幅広く発信し、移住促進に努めます。

●バス交通体系の確立

現在、実証運行を行っている当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)は、この2年間で延べ25万人を超える利用があり、住民生活の中に定着されつつあります。

現状では、国などの支援を受け収支バランスを取っていますが、継続的に運行出来るよう研さんし、住民がより利用しやすい交通体系の確立と地域活性化の実現を目指します。



●情報通信基盤の整備

町は、北海道内の多くの市町村で構成する、北海道電子自治体運営協議会に参画し、各種システムの共通機能を共同で構築してきました。電子申請の手続き対象を拡大するなど、多くの町民に利活用されるよう、さらに北海道町村会や関係機関と連携を図ります。

また、ますます進展するIT社会において情報化推進の基本方針、目標などを定めるため地域情報課計画を策定します。



●子育て支援の推進

子育てに不安や負担を感じずに安心して子どもを育てられるよう、子育て支援センターの充実、子育てサポーターの育成、ファミリー・サポート・システムの推進に努めます。



今後も養成講座を開催し、協力会員の育成に努めます。

保育所・幼稚園を問わず、当別の子どもは、町内で一環した教育を受けられるべきと考えており、「幼保の一元化」はこれを可能にする重要施策と捉え、今後の幼児教育は、公設公営に拘らず、民間活力の積極的な導入を図り、時代のニーズに則した多種多様な保育メニューを備え、町民の選択肢を増やすなど、サービス向上に努めることが必要と考え、教育委員会と連携し、一元化複合施設の早期開設に向けて、保護者や町民の意見と理解を頂いた上で、子育てを含む一体的な幼児教育環境の形成に努めます。

●少子高齢化に対応した健康づくりの推進

長寿社会を心身ともに健やかで楽しい、活力ある生活を送ることができるよう、「平均寿命」と「健康寿命」の差をできるだけ縮め、健康で生き生きとした地域社会を築くため、「当別町健康づくり計画」の4つの柱である「身体活動と運動」、「栄養と食生活」、「こころの健康」、「歯の健康」を基本に各種健診を実施し、健康という



町の貴重な財産を守るために、町民ひとりひとりが責任を意識する健康づくりを推進します。

また、今年度より後期高齢者医療制度が始まり、特定健康診査、健康指導が強化されます。健康的な生活習慣の定着と医療費の抑制を図るため、町内関係団体および医療機関と連携し、健康づくりを推進します。

●農業生産組織及び 農産物加工・開発への支援

農産物の加工・開発による地域ブランド創出の取り組みを推進しながら、消費者の食の安全を提供する場である農産物直売所のあり方について検討します。

農家と企業、町民、町とが連携し、農業と地域経済の振興を図ります。

当別町は、市場マーケティング活動が非常に遅れていますので、農産物に付加価値を与えるようなシステムづくりを進める必要があります。町内の商工業やJA、農家での自主的な動きに対し、最優先で支援し、農業のブランド化、高収益化を図り、農家戸数の減少に歯止めをかけ、町の活性化を図ります。

●文化創造と情報発信拠点の創出

赤れんが6号は、文化創造、賑わい創出、情報発信の拠点として昨年4月から約4万人の利用者があり、今後も更なる施設の活用を図ります。

施設の多彩な機能や設備を最大限活用して、農業、商業、工業等の連携による駅前の賑わい創出と町の魅力を発信する拠点となるよう、取り進めます。

●北海道医療大学との連携と 商店街の活性化

北海道医療大学との連携は、保健、医療、福祉分野にかかわらず教育やまちづくり全般にわたっており、町の発展に欠かせないものです。

特に、学生ボランティアが創設したNPO法人「ゆうゆう24」は、福祉サービスの担い手として、障害者自立支援法の事業を推進していますが、今年度は、高

齢者、障がい者、子ども、大学生を中心に誰もが利用できる「地域オープンサロン」、高齢者や学生ボランティア、各種サークルや団体とのネットワークづくり、また福祉教育などの推進や福祉情報の発信拠点となる「地域福祉ターミナル」の構築事業を行うこととしています。

また、高度化する社会に対応する学習機会を提供するため、北海道医療大学との連携セミナーとして取り組んでいる当別学講座にコミュニティバスの臨時便の検討や、大学総合図書館との図書の相互貸借など、学習環境の整備を大学と共に充実します。

●都市計画事業の推進

市街地における公共施設の整備と宅地の利用増進を図るため実施してきた当別幸町土地区画整理事業は、今年度に換地処分をするとともに、現在進められている当別大橋架換事業の早期完成を北海道に働きかけ、本町市街地の骨格路線である当別大通の全線開通に取り組みます。

また、今年度に本体工事を着手する当別ダムや、道民の森への連絡道路として重要な町道本通線道路改築事業に取り組みます。

●その他

安全でおいしい水を安定して供給できるよう、当別ダム完成後の平成25年度より石狩西部広域水道企業団から水道水を受水する計画となっており、第3次拡張事業を平成18年度より実施しています。

今年度は、景林配水池増設工事と太美地区へ水道水を安定供給するための配水管を整備します。





教 育 行 政 行 執 行 方 針

平成 20 年度の教育行政は、5 年計画の最終年を迎える「当別町生涯学習推進計画」に基づくとともに、「ふれあい、かかわり合いの教育」を基本姿勢として、町民の主体的な学びへの取り組みや相互の啓発、ネットワークや人と人とのふれあいの中から生まれる智慧や工夫を大切に、活力と潤いのある人づくり、まちづくりにつながる教育行政を推進します。

各教育分野において課題を明確にし、学社連携・学社融合とともに、関係機関や団体、地域との連携を深めながら、課題の解決に向け取り組みます。

また、法改正によって、教育委員会や学校教育の評価など、活性化方策の具体化が始まろうとしている年であり、これまでの取り組みの成果を生かしつつ、制度改正を生かした教育行政の推進に努めます。

【重点施策】

■学校教育の推進

学校経営を改善、充実するため、学校評価と保護者への情報提供にに取り組む学校づくりを進めます。

●幼稚園教育の推進

幼児の望ましい発達のための環境の充実を図ります。

また、幼保一元化やそのための具体方策について、町長部局と一体的に検討を進めます。

●小中学校教育の推進

◎確かな学力

文部科学省による全国学力・学習状況調査に参加し、各種調査結果の分析と改善方策のサイクルを確立する取り組みを進めます。



また、大学生や地域の協力による教科指導補助の拡充、小学校英語活動の計画化と英語指導助手の指導時間数増などの取り組みや、教員の資質向上に資する取り組みを進めます。

◎豊かな心の育成

ボランティア活動による人と人との結びつきの体験、現場実習を取り入れるとともに、食育の充実に努めます。

また、いじめ問題の解消や児童生徒の悩みに応えるため、継続的な実態把握と課題に対応した生徒指導体制の充実、関係機関との連携を図った教育相談体制づくりに努めます。



◎開かれた学校の推進と教育活動の改善

学校経営についての自己評価を実施し、保護者への公表および教育委員会への報告を確実にし、学校だより、ホームページなどによる周知を図ります。

さらに、特別支援学級の介助員を継続して配置するとともに、新たに特別支援教育の対象となる発達障害等の児童生徒の指導充実のため、指導計画や指導方法の実践的交流を推進し、また大規模校に新たに支援員を配置します。

◎教育環境・教育施設の充実

児童生徒の実態を踏まえた安全教育の見直しや事故防止訓練を充実し、地域や北海道教育委員会との連携により安全確保に取り組めます。

また、各学校の耐震診断にかかわる優先度調査、AEDの配置の推進を図ります。

スクールバスは、閉校となる東裏地区をはじめ、通学の安全を確保し、地域住民の交通手段として、一般混乗を試験的に実施します。



◎豊かで安全な学校給食

バランスのとれた安全な給食を提供し、地域の食材や食文化に対する関心、愛着を深めるため、地場産食材の拡大と給食献立の工夫に努めます。

■社会教育の推進

町民のニーズを把握しつつ、本町の生涯学習の基本的な方向性を総合的に示し、指針としての性格を持つ第3期生涯学習推進計画を策定し、幼児から高齢者までの幅広い学習機会の設定や、子育てに係る家庭教育の充実、子どもの基本的な生活習慣の確立を各関係機関・団体と連携、協力して推進します。

◎青少年教育の推進

指導センターにおいて問題行動防止のための情報共有や町内巡回を充実し、学校の教育相談に対応するなど教育相談機能を拡充します。



また、学校や地域

との連携による子ども居場所づくりや、中高生を対象とした子育て講座、子ども出前講座を実施するほか、リーダー能力を育むためのジュニアリーダーの養成や研修、小学校高学年を対象とした子ども会リーダー研修会を開催します。

さらに、町内の安全な環境づくりのため、子どもの視点を生かした危険マップの作製、危険情報や生徒指導についての学校と地域の情報共有などを推進します。



◎成人教育の推進

町民のニーズに対応した町民自主企画講座、地域や今日的課題への理解を深めるため、北海道医療大学との連携による当別学講座を開設するとともに、地域人材を活用しながら、町民の興味や関心に応える出前講座である「どうべつ知恵袋」の充実を図ります。

高齢者のことぶき大学については、自主的運営を基本に、町内外の団体や幼児との交流を図り、社会参加活動を充実します。

◎家庭と地域の教育力の向上

子育てを考える集いの開催、ブックスタートや絵本に親しむ講演会、読み聞かせ機会の充実などに努めます。

また、自律的な生活を経験させるための、ボランティアの協力による通学合宿事業の継続実施、早寝早起き朝ごはん運動、父親と子どもが共に参加する子育て講座などを実施します。

さらに、地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業実施に向けた準備を進めます。

◎文化・芸術活動の推進

文化協会、文化関係団体、サークルなどの発表や展示の場の充実を図ります。

また、図書室機能の充実のため、北海道医療大学総合図書館との連携により、町民の読書ニーズに応える体制づくりを進めます。

さらに、歴史ボランティアの協力により、伊達記念館・伊達邸別館でのボランティアガイドの養成および活動の支援を行います。



◎スポーツ活動の振興

幅広い年代が様々なスポーツに親しみ、指導を受けることのできる総合型地域スポーツクラブの設立に向けた取り組み、子どもの体力、運動能力の向上のためのニュースポーツ指導事業、健康運動相談、フィットネスインストラクター指導事業を実施します。

予 算 概 要

財政健全化に向け、歳入の確保に努めるとともに、事務事業の見直しを通して、歳出縮減を図り、予算規模の大小とは関係無く、個々の事業をより効果的に実施すべく予算を編成しました。

平成 20 年度予算

総 額 133 億 6640 万円

一般会計 78 億 2425 万円

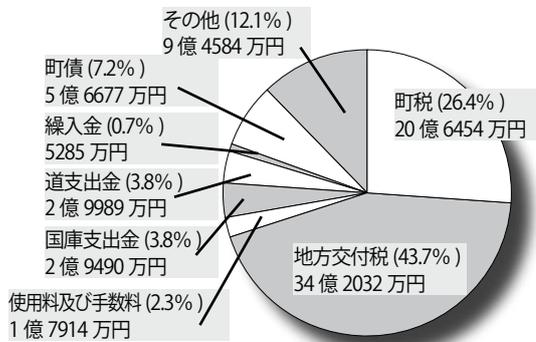
■各会計予算

会 計 区 分	H20 年度当初予算額	H19 年度当初予算額	比 較	増減率
一般会計	78 億 2425 万円	88 億 2443 万円	▲ 10 億 18 万円	▲ 11.3
国民健康保険特別会計	21 億 3027 万円	22 億 5631 万円	▲ 1 億 2604 万円	▲ 5.6
老人保健特別会計	2 億 1389 万円	21 億 8183 万円	▲ 19 億 6794 万円	▲ 90.2
介護保険特別会計	10 億 4139 万円	10 億 604 万円	3535 万円	3.5
介護サービス事業特別会計	5913 万円	5697 万円	216 万円	3.8
後期高齢者医療特別会計	1 億 6777 万円	0	1 億 6777 万円	皆増
下水道事業特別会計	9 億 9697 万円	11 億 4633 万円	▲ 1 億 4936 万円	▲ 13.0
農業集落排水事業特別会計	8239 万円	8718 万円	▲ 479 万円	▲ 5.5
小 計	125 億 1607 万円	155 億 5909 万円	▲ 30 億 4302 万円	▲ 19.6
水道事業会計	8 億 5033 万円	9 億 3364 万円	▲ 8331 万円	▲ 8.9
合 計	133 億 6640 万円	164 億 9273 万円	▲ 31 億 2633 万円	▲ 19.0

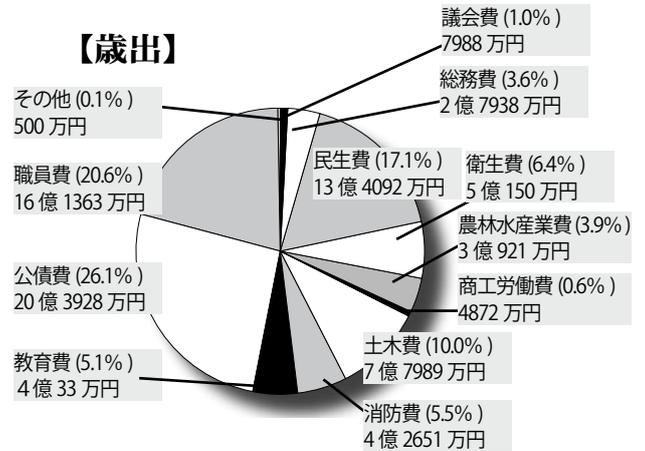
※ 1 万円以下の端数は四捨五入しています。

■一般会計

【歳入】



【歳出】



■主な事業費

重点施策項目・事業名	金額
美しいまちづくり	移住促進事業 62 万円
バス交通体系の確立	コミュニティバス実証運行事業 4680 万円
情報通信基盤の整備	HARP 電子申請事業 199 万円
子育て支援の推進	子育て支援センターの充実 182 万円
少子高齢化に対応した健康づくりの推進	特定健康診査及び特定保健指導 2057 万円
農業生産組織及び農産物加工・開発への支援	農業生産組織への支援等 18 万円
文化創造と情報発信拠点の創出	当別赤れんが 6 号運営管理事業 664 万円
北海道医療大学との連携と商店街の活性化	商工会補助金 2180 万円
都市計画事業の推進	当別幸町土地区画整理事業 8467 万円
教育環境の充実	特別支援教育支援員の配置 684 万円
後期高齢者医療制度対策事業	2 億 2589 万円



総合計画審議会がスタート

現在、町では平成21年度から始まる新たな総合計画の策定のため、まちづくり町民検討会議や庁内組織で協議を重ねるなど、取り組みを進めていますが、具体的な計画を審議するために総合計画審議会を設置しました。

総合計画審議会とは？

新しい当別町総合計画の策定に関する事項について、町長の諮問に応じて必要な調査や審議を行い、町長に意見を答申する審議会です。

●総合計画審議会委員構成

役職	所 属	氏 名	役職	所 属	氏 名
会長	北海道医療大学	廣重 力	委員	当別町女性団体連絡協議会	東谷 たまえ
副会長	当別町商工会	河村 佳男	委員	当別町子ども会育成連合会	小川 忠司
委員	北石狩農業協同組合	川原 博志	委員	当別町PTA 連合会	安藤 頼孝
委員	当別土地改良区	山田 智	委員	当別町体育協会	宮永 雅己
委員	当別町観光協会	重原 禪	委員	当別町文化協会	中野 政幸
委員	当別消費者協会	下段 キミ	委員	当別町都市計画審議会	辻野 修
委員	当別町社会福祉協議会	泉亭 俊徳	委員	当別町政策評価委員会	江口 正尊
委員	当別町民生児童委員協議会	東方 紘	委員	まちづくり町民検討会議	目黒 敏弘
委員	当別町ボランティア連絡協議会	渡辺 ヨキ子	委員	公募	石本 留美子
委員	当別町行政推進員連絡協議会	鈴木 智久	委員	公募	安達 史子

第1回会議を開催（2月19日）

町長から各委員へ委嘱状を交付し、会長、副会長を選任しました。その後、総合計画策定に向けた考え方、今後のスケジュール、町民まちづくり検討会議が提言書としてまとめた「当別の未来 これからのまちづくり」などについて事務局から説明をしました。

◎会議での委員からの質問事項

Q 計画期間を概ね10年としているのは、期間の途中で新しい計画を策定することも有り得ると言うことか。

A 過去の総合計画でも社会情勢の変化などにより期間を前倒して次の計画を策定した経緯がある。次期総合計画も柔軟に対応ができるよう概ね10年としている。



当別まちづくりフォーラムを開催

新しい総合計画策定事業の一環として「みんなで考える これからの当別」をテーマにまちづくりフォーラムを2月22日に開催し、町民の方約70名が参加しました。



基調講演では、酪農学園大学環境システム学部松本 懿^{あつし}教授より「これからの地域づくりは町民が主人公となって積極的に行動することが求められ、人を動かす、まちを動かす仕組みづくりが大切」と住民参加の必要性を訴えました。

パネルディスカッションでは、まちづくり町民検討会議の3名の方がパネリストとなり、「これからは地域における防犯などの取り組みが大切である一方、町内会への加入率の低下などは、住民主体の地域づくりを進める上での課題」など、さまざまな意見が出されました。

当別町住民意向調査 調査結果

新しい総合計画の策定に向けて、町民のまちづくりに対する考え方や意見を整理・把握し、今後のまちづくりの方向性や課題への対応を検討するうえでの基礎資料とするため、町民アンケート調査を実施しました。調査結果の一部を紹介します。

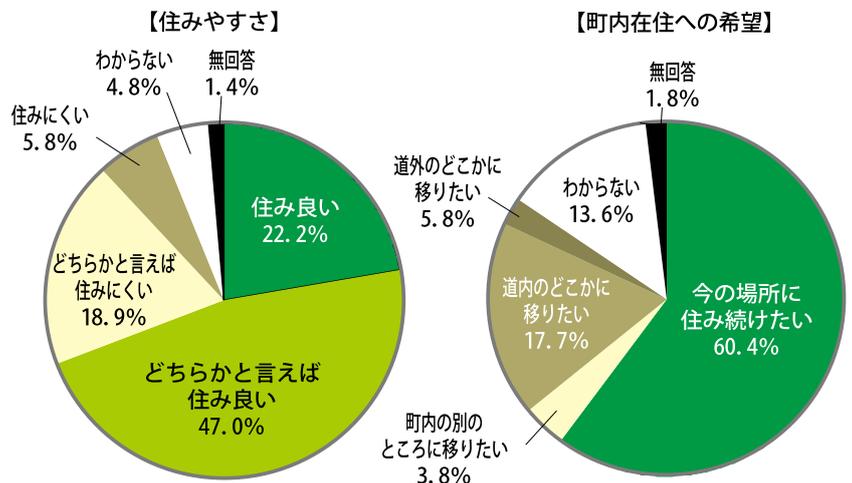
町民アンケート調査 調査結果概要

- 対象 当別町在住の18歳以上の男女3,001人（無作為抽出）
- 時期 平成19年9月20日（木）～平成19年10月19日（金）
- 方法 郵送調査法、自記式
- 回収数 1,209件（回収率：40.3%）

当別町の生活環境

約7割が「住み良い」と回答している
購買力は札幌や江別への流出が大きい

- 回答者の6割が、今後も「今の場所に住み続けたい」と回答。
- 町外に移りたいとした回答者からは、その理由として「交通の便が悪い」、「買い物や娯楽の場が少ない」（それぞれ39.4%）が多く挙げられている。
- 太美市街地、スウェーデンヒルズ、西地区農村部では、食料品を含め、札幌への購買力の流出が顕著にみられる。



当別町の将来像

自然環境を維持しつつ、ひとに優しい安心・安全なまちへ

- 将来目指すべきまちの姿は、「豊かな自然環境が守られているまち」（38.9%）、「お年寄りや障がいを持つ人が大切にされるまち」（29.4%）、「災害や犯罪がない安心・安全なまち」（24.8%）が上位を占めている。
- 30歳代の回答者では「子どもたちを伸び伸びと育てることができるまち」が多くなっているほか、農村部では「農業を中心とした産業が発展しているまち」との回答が多くみられた。



施策の現状評価と今後の重要性

生活環境は概ね満足している

今後は保健・医療・福祉の充実が求められる

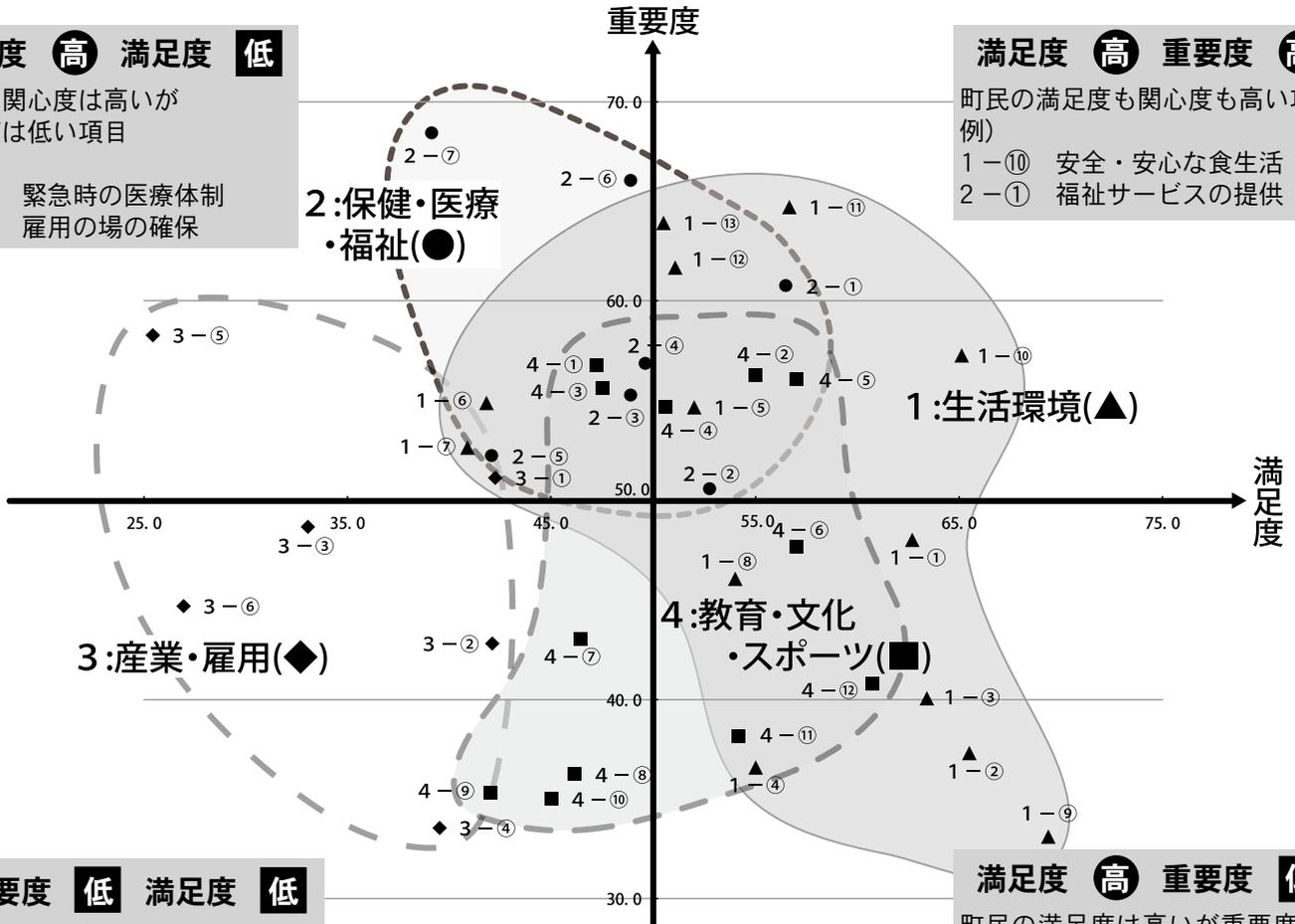
重点的に取り組むべき施策を抽出するため、施策項目ごとに満足度、重要度の偏差値を算出し、全項目の総体的な位置づけがわかるよう、満足度、重要度を軸として図表化を行いました。

重要度 高 満足度 低

町民の関心度は高いが満足度は低い項目例)
 2-⑦ 緊急時の医療体制
 3-⑤ 雇用の場の確保

満足度 高 重要度 高

町民の満足度も関心度も高い項目例)
 1-⑩ 安全・安心な食生活
 2-① 福祉サービスの提供



重要度 低 満足度 低

町民の関心度も満足度も低い項目例)
 3-⑥ 小売店の充実
 4-⑨ 芸術・文化を楽しむ施設

満足度 高 重要度 低

町民の満足度は高いが重要度は低い項目 (既に達成したと思われる項目) 例)
 1-⑨ 地域集会施設の整備
 4-⑫ 公共スポーツ施設の整備

●各施策項目における満足度・重要度の評価得点の偏差値

	施策項目	満足度	重要度
1 生活環境	①自然環境の保全	62.7	48.0
	②生活環境づくり	65.5	37.3
	③美しい田園風景	63.4	40.0
	④美しい街並み	55.0	36.6
	⑤ごみの少ない生活	52.0	54.7
	⑥安全な道路の整備	41.8	54.9
	⑦公共交通の整備	40.9	52.6
	⑧身近なところでの買物	54.0	46.1
	⑨地域集会施設の整備	69.4	33.1
	⑩安全・安心な食生活	65.2	57.2
	⑪水の安定供給	56.7	64.7
	⑫防犯体制・設備の整備	51.1	61.7
	⑬防災対策	50.5	63.9
2 保健・医療・福祉	①福祉サービスの提供	56.6	60.8
	②高齢者、障がい者が住みやすい環境	52.8	50.5
	③高齢者、障がい者が集う環境	48.9	55.3
	④子育て支援体制の整備	49.7	56.8
	⑤働く女性の子育てや男性の育児参加の環境整備	42.1	52.2
	⑥医療環境の整備	48.9	66.0
	⑦緊急時の医療体制	39.2	68.4

	施策項目	満足度	重要度
3 産業・雇用	①農林業の活発化	42.2	51.1
	②農林産物の全国での認知度	42.1	42.8
	③産業界による活発化	33.1	48.7
	④観光客の増加	39.5	33.5
	⑤雇用の場の確保	25.5	58.3
	⑥小売店の充実	26.9	44.7
4 教育・文化・スポーツ	①子ども達が学力等を身につける環境	47.3	56.7
	②楽しい学校生活づくり	55.0	56.2
	③障がいのある子ども達の指導体制	47.5	55.6
	④幼稚園・保育所等の施設整備	50.6	54.7
	⑤小中学校等の教育施設整備	57.0	56.0
	⑥公園等子どもの遊び場の整備	57.0	47.6
	⑦だれもが学習できる機会	46.5	43.0
	⑧芸術・文化に親しむ機会	46.2	36.2
	⑨芸術・文化を楽しむ施設	42.0	35.3
	⑩町の歴史・伝統・文化の理解・伝承	45.0	35.0
	⑪スポーツ等の活動を親しむ機会	54.2	38.1
	⑫公共スポーツ施設の整備	60.8	40.8

※ 偏差値50.0を平均値とする

1 生活環境

- 道路や公共交通の整備を除けば、総じて生活環境の満足度は高い。
- 水の安定供給と防災・防犯関連施策が重要と捉えられているほか、ごみ対策、道路・公共交通関連施策に対する関心も高い。
- 景観関連施策は、満足度が高い反面、重要度は低い。

2 保健・医療 ・福祉

- 「福祉サービスの提供」の満足度はやや高い。
- 「緊急時の医療体制」や「働く女性の子育てや男性の育児参加の環境整備」の満足度は低い。
- 保健・医療・福祉分野に対する関心が高い。特に、「緊急時の医療体制」、「医療環境の整備」については、全項目中でも重要度が高い。

3 産業・雇用

- すべての施策項目において満足度は平均値を下回っており、全項目中下位3項目が産業・雇用分野となるなど、厳しい評価となっている。
- 重要度は、「雇用の場の確保」で高いほかは分野全体で低い。

4 教育・文化 スポーツ

- 満足度は、ばらつきがあるものの、全体的には平均値周辺に位置している。
- 重要度は、学校教育に関連した項目と社会教育に関連した項目ではっきりとした差が出ている。学校教育関連項目は重要度が高い。一方、社会教育関連項目は平均値を大きく下回っており、文化やスポーツなどの分野において町民の関心が低い。

これから重点的に取り組むべき施策

子育て

「保育料・教育費の負担の軽減」(40.1%)、「児童手当や医療費・出産一時金などの助成の充実」(37.6%)など、経済的負担の軽減支援に対する回答が多い。

安全・安心 な まちづくり

「防犯灯や街灯などの整備」(29.8%)、「常備消防・救急業務体制や消防団の体制の充実」(29.3%)、などが上位を占めている。

健康な 生活

「健康診断などによる病気の早期発見・予防事業の充実」との回答が半数を超えており、健康診断の実施などに対するニーズが高い。

老後の 不安

「介護が必要になったときの支援体制」(45.2%)、「年金などの経済的なこと」(44.7%)の回答が多い。

環境問題

「ごみ減量化を図るための、資源ごみの分別リサイクルの推進」(41.4%)、「不法投棄などの監視活動の強化」(33.7%)など、ごみに関する取り組みが求められている。

産業振興

「基幹産業である農業を活かして、食品関連産業を盛んにする」(29.4%)、「域内循環・地産地消による農業・商工業を中心とした産業の活性化」(19.2%)との回答が多く、農業を軸に据えた産業振興に対する関心が高い。

地域間 交流

「小中学生・高校生など若者の交流をより深める」(国際交流：21.5%、国内交流：19.9%)との回答が最も多くなっており、教育的視点での地域間交流に対する取り組みが求められている。

◎アンケート結果の公表 調査結果の詳細は、町のホームページで見ることができるとともに、企画課（役場2階）で配付しています。
▼問合せ先 企画課総合計画係
☎ 23 - 2393 / FAX 23 - 3206 /
E-mail soukei@town.tobetsu.hokkaido.jp

当別ふれあいバス 「ふれバ」からのお知らせ



この春、3年目の『試験運行』を迎える「当別ふれあいバス」ですが、新路線「Sui Suiふれバ」の運行開始や応援券の料金改定などいくつかの変更点がありますので、お知らせいたします。

新路線「Sui Suiふれバ」 運行開始

金曜日・土曜日限定で運行する予約制深夜バスです。予約があった場合、JRあいの里公園駅を0:35に出発し、ご希望のふれあいバス停留所（一部を除く）まで運行します。

運賃は、おとな1回1,000円です。また、応援券をお持ちの場合は、「応援券提示+500円」です。いずれも、回数券でのお支払が可能です。

予約およびキャンセルは、ご利用日の20:00までにご連絡下さい。（これ以降のキャンセルや連絡なしの場合、キャンセル料として、現金1,000円をいただきます）。

■予約先

(有)下段モータース (☎ 23 - 2630)

4月からの運賃

●応援券の価格

月 / 区分	一般	小・中・高校生 障がい者・介護人
1か月	4,000円	2,000円
3か月	10,000円	5,000円
6か月	16,000円	8,000円

●応援券以外の運賃

- ・Sui Suiふれバ以外の全路線
1路線 **200円**
- ・回数券(12枚綴) **2,000円**
- ・Sui Suiふれバ
応援券提示無 **1,000円**
応援券提示有 **500円**



【注意事項】

- ① 6歳以下(就学前)は、13歳以上の「保護者」1人につき2名まで無料です。
- ② 応援券には、使用者の記名を必要とし、無記名の場合は無効となります。
- ③ 応援券の有効期限は、**購入日に関わらず最長で平成21年3月31日まで**です。
※平成20年4月以降発売の回数券については、有効期限はありません。

応援券販売所

販売所	電話番号	取扱時間
当別町商工会(錦町)	23 - 2447	9時～17時 (平日のみ)
ふれあい倉庫(錦町)	27 - 6600	9時～17時 (定休日 月曜)
老人クラブ連合会事務局 (ゆとろ 社会福祉協議会内)	22 - 2301	9時～17時 (平日のみ)
(有)下段モータース(樺戸町)	23 - 2630	9時～18時
北洋交易(株) (スウェーデン ヒルズ管理センター内)	26 - 2348	9時～18時
(株)小島商店(太美町)	26 - 2410	8時～21時
とうべつ整形外科 (六軒町)	25 - 5040	9時～18時(月～金) 9時～12時(土曜日)

※取扱時間は時節により変動することがあります

運行の流れ

もう一軒
行きますか・・・

札幌

電話で予約→☎

仕事が
長引きそう・・・

運行会社

当別

JR 学園都市線
あいの里公園行
最終電車に乗車

JR あいの里駅公園前
0時35分発

当別町の
最寄りのバス停へ



バス停留所 変更・追加の ごあんない

スウェーデンヒルズ内にあるバス停留所「ヒルズWモデルハウス」を
→「**ヒルズW 2-5-5**」に変更します。

また、昨年オープンした「レクサンド記念公園」にバス停留所を新設します。

※新しい時刻表は、応援券販売所と役場企画課窓口にあります。

また、当別町ホームページからダウンロードできます。

▼ふれあいバスの問合せ 当別町地域公共交通活性化協議会事務局
(役場企画課内 / ☎ 23 - 3042)

URL : <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/kikaku-bus01.htm>

JR 当別駅南口発→JR 太美駅・医療大あいの里キャンパス行き (平日ダイヤ)														
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便
31 ヒルズV 2-1-4	6:50	7:45	8:05	9:15	11:10	12:00	14:15	15:05	16:40	16:50	18:00	18:40	19:15	20:20
70 レクサンド記念公園	6:50	7:45	8:05	9:15	11:10	12:00	14:15	15:05	16:40	16:50	18:00	18:40	19:15	20:20
32 ヒルズW 2-5-5 (旧モデルハウス)	6:51	7:46	8:06	9:16	11:11	12:01	14:16	15:06	16:41	16:51	18:01	18:41	19:16	20:21

JR 当別駅南口発→JR 太美駅・ロイズ行き (土日祝ダイヤ)													
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	
31 ヒルズV 2-1-4	6:50	8:05	8:50	10:00	11:20	13:00	14:20	15:40	16:55	18:00	19:10	20:10	
70 レクサンド記念公園	6:50	8:05	8:50	10:00	11:20	13:00	14:20	15:40	16:55	18:00	19:10	20:10	
32 ヒルズW 2-5-5 (旧モデルハウス)	6:51	8:06	8:51	10:01	11:21	13:01	14:21	15:41	16:56	18:01	19:11	20:11	

JR ふとみ駅・医療大あいの里キャンパス発→JR 当別駅南口行き (平日ダイヤ)														
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便
32 ヒルズW 2-5-5 (旧モデルハウス)	7:30	8:12	8:39	10:12	12:02	13:32	15:07	15:57	17:14	17:32	18:30	19:10	20:12	21:12
70 レクサンド記念公園	7:30	8:12	8:39	10:12	12:02	13:32	15:07	15:57	17:14	17:32	18:30	19:10	20:12	21:12
31 ヒルズV 2-1-4	7:31	8:13	8:40	10:13	12:03	13:33	15:08	15:58	17:15	17:33	18:31	19:11	20:13	21:13

JR 太美駅・ロイズ発→当別駅南口 (土日祝ダイヤ)													
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	
32 ヒルズW 2-5-5 (旧モデルハウス)	7:28	8:39	9:15	10:24	11:49	13:49	15:01	16:27	17:25	18:25	19:30	20:30	
70 レクサンド記念公園	7:28	8:39	9:15	10:24	11:49	13:49	15:01	16:27	17:25	18:25	19:30	20:30	
31 ヒルズV 2-1-4	7:29	8:40	9:16	10:25	11:50	13:50	15:02	16:28	17:26	18:26	19:31	20:31	

※なお、この変更や追加による、沿線各停留所の時刻の変更はありません。

第2回 当別町地域公共交通活性化協議会が 開催されました

当別ふれあいバスを軸として地域の活性化や高齢化社会へ対応できる継続可能な公共交通確立を目的として設置された「当別町地域公共交通活性化協議会」の第2回協議会が、3月11日(火)に開催されました。

今回は、地域の公共交通活性化を目的とした当別町地域公共交通総合連携計画と、2月5日～3月6日まで行なった本計画素案のパブリックコメントの取り扱いについて協議しました。

パブリックコメントの概要は、右表のとおりです。また、結果の詳細と、当別町地域公共交通総合連携計画は、当別町ホームページからダウンロードできます。

●当別町地域公共交通活性化協議会

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/kikaku-bus-kyougikai.htm>

【意見】お年寄りのためのノンステップバスの導入をして欲しい

【対応】 導入については、高額であることやバスの所有権の問題があるため慎重に検討します。

【意見】札幌市内のように、車内で案内放送をして欲しい

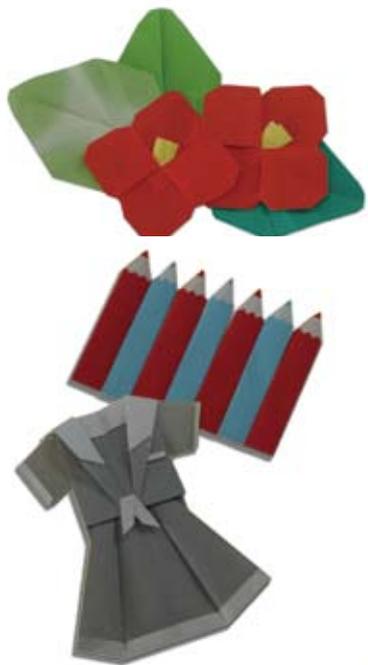
【対応】 運転手によるマイクアナウンスにより対応していましたが、限界があり対応を模索していました。音声案内の導入を、本計画に追記します。

【意見】当江線の便数を午前中、午後ともに1便増やして、主婦が利用できるような時間の運行をして欲しい。当江線は国道275を通行しているが、住宅地に近いところを通って欲しい。

【対応】 当江線は、都市間を結んでおり町独自で計画を立てることに限界があること、本計画は当別ふれあいバスを軸としていることなどの理由から、直接当江線に触れていません。

また、当江線については、町の政策評価で廃止を含めた検討が示されています。

しかし、本意見や江別市の意見をもとに再整理し本協議会の他、関係機関などと協議を進めます。



みんなを笑顔に 折り紙のつくる世界

折り紙グループ
オリーブ

代表 山田幸子さん

(北栄町)

平成 16 年に子ども向けの講座開設のために結成されましたが、現在では高齢者のボランティア、大人向けの講習会の開催など折り紙を通じた幅広い活動を実施しています。

たかが折り紙 されど折り紙

「折り紙とは子どもの遊びと言うイメージがありますが、大人も夢中にさせる魅力があるんです。ホントに折り紙って奥が深いものなんです。」

土曜日の子どもの居場所づくりのため、当時、教育委員会が行っていた事業と連携して立ち上がったこの会ですが、だんだん仲間も増えて、子ども向けの内容から、高齢者、大人も楽しめる幅広い活動に発展してきました。

折鶴のようなやさしいものから、大人でも一回では覚えられない難しいものまで幅広い作品を作ることができます。今は「されど折り紙」という気持ちで取り組んでいます。

心掛けていることは、なるべく季節感のあるものを折るようにしています。正月、節分、お雛様、鯉のぼり、七夕、夏祭り、クリスマスなどに関係した作品は特に子どもたちが喜んでくれますね。

折り紙の魅力を伝える 目に見えない積み重ね

高齢者の方々と共に楽しむ機会がありますが、折り紙は細かく指先を使うことや、目や頭を使って考えることが多いので、脳の活性化にも役立つと、大変喜ばれていますね。

子どもさんや、高齢者を対象としたボランティアの活動が主ですが、年に一回、町民の大人の方を対象に「折り紙教室」を開催しています。

参加者全員が、時間内に作品を仕上げるができるよう、事前に折ってみてタイムを計り、リハーサルをする配慮も忘れません。

折り方を説明しながら、会場全体を見渡し、一人でも遅れることの無い様、指導する会員は常に心配りを忘れないようにしています。

また、一度作ったものは二度と折らないようにと、毎月一度、オリーブの仲間で勉強会を開いて、札幌へ習いに行っている会の仲間から、新しい作品を教えても

らっています。

私も、新聞や雑誌に載っているものを見て「これは使えるな」と思ったものは切り抜いて参考にしています。

秘訣は 自分たちも楽しむ

上手に折る、巧く作る、綺麗に仕上げる、それを目標とすることはもちろんですが、いちばん大事なことは、その場の雰囲気づくりです。和、暖かさ、良いコミュニケーション、とにかく楽しまなければダメですね。折り紙を通して、その時間を楽しく過ごしていただきたい。私たちオリーブは、周りの人たちの喜ぶ姿を見て共に楽しませて頂いています。

現在、会員は 13 名。ひとりひとりが良く気が付き、良く動き、良いアイデアを出してくれる。そして、何よりも明るい。

この「和」がある限り、オリーブはこれからも楽しく、気負わず、ボランティア活動を続けて行けるとおもいます。

■ ふれあい倉庫イベント情報

【カルチャーホール】

第2回ふれあい音楽会

▼開催日 4月3日(木) 開演 19時

▼主催 ふれあい音楽会実行委員会

▼問合せ 棚村 (☎ 090 - 5985 - 6909)

施設の使用には申請書の提出が必要です

ふれあい倉庫を使用する場合は、施設の空き状況を確認の上、原則、使用日の3日前までに申請書の提出をお願いします。申請書は、町ホームページからダウンロードできます。

▼申込・問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

地場産品コーナーの運営が変わります

ふれあいホールで行っている「地場産品コーナー」は、これまで商工会が運営を行ってきましたが、4月からは、商工会と北石狩農協と町が連携した「ふれあいホール運営協議会」を設立し運営に当たります。

これまで以上に町内外に町の農産物などをアピールしていきます。

TOMOTO 一友と一が3月末をもって閉店

地元の食材を利用したメニューで、皆さんに親しんでいただいた飲食コーナー「TOMOTO 一友と一」は3月30日をもって閉店しました。これまでのご利用ありがとうございました。

駅南広場駐車場の使用時間帯のお知らせ

JR 当別駅前にある駅南広場駐車場は、「ふれあい倉庫」の開館時間帯に使用できる短時間駐車場となります。それ以外の時間は、出入り口を施錠しますので、ご注意ください。通勤通学には、ポッポ公園駐車場を使用してください。

◎使用できる時間帯 午前9時から午後8時

▼問合せ 商工課 (☎ 23 - 3129)

建設課 (☎ 23 - 3197)

続

町長の日記

平成20年3月11日(火)

去る7日、トラクターで自宅の除雪をされていた獅子内の方がブローアの下になり亡くなられてしまった。更に悲しい事に、その人を助けに駆けつけた叔父も悲惨な現場の光景にショックを受け、その場で急逝されてしまった。

当別町では、この1年間に173人亡くなられているが、同時に2人には非常に驚いた。どの人の葬儀にも悲しさに差はないのですが、今回は合同葬儀なので昨夜の御参りの人数は大変な数だった。

亡くなられた日から葬儀の今日迄5日間、両家の御遺族の混乱の様子を見て、私も41年前に父親が目の前でトラクターの下敷きになり即死した日の事を嫌でも思い出していた。

母は大学ノート22ページに、結婚してすぐ8年間も戦争未亡人となり、さらに49歳で本当の未亡人になってしまったと云う内容の「手記」を父の13回忌の日に家族に見せてくれた。

誤字脱字はあったが、一介の農婦の母がこんな「手記」を書いたのかと思った。しかも書いてから13年間は自分の中にしまっていたのかと思うと胸が痛くなった。

今日、葬儀委員長の挨拶をしながら御遺族の息子さん達に頑張っ欲しい、お母さんを大切にしておあげ欲しいと、ひとしお思った。出棺の時は41年前の父の時と同じように小さくて細かい雨が降っていた。

予算委員会開会中だったので出棺と同時に役場へ戻ったが、途中で老朽化した火葬場の窯を12月に修理しておいて良かったと思った。もし、一基しか使えなかったら今回は御遺族に大変なご迷惑を掛けるところだった。このつたない「日記」が広報に掲載される頃、お二人は、神様の所に行かれているに違いない。

そして、これからもトラクターを使う人々をきつとお守り下さるだろう。

当別町長 泉 幸彦

証 明

本人確認をします 住民票の取得や戸籍の届等

5月から住民票・戸籍等の申請や届け出は、個人情報保護や、なりすましによる届出を防止するため、本人確認等が必要になります。

▼本人確認の方法

運転免許証、住民基本台帳カードなどの写真が貼付された官公署で発行されたものいずれかひとつを提示していただきます。

上記以外は、健康保険証、年金手帳、預金通帳など複数の書類等で確認します。

▼住民票の申請

◎代理人または使者の場合は、使用目的のほかに、委任状の提出や請求に関する関係書類を提示してください。

▼戸籍の申請

◎戸籍の請求内容を詳しく書いていただきます。(戸籍に記載されている方は使用目的を省略することができます。)

◎戸籍に記載されていない直系の親族の方は戸籍謄本等関係のわかる書類を持参ください。

◎代理人の方は印鑑、使用目的が詳しく記載された委任状の提出や請求に関する関係書類を提示してください。

◎戸籍の届出(養子縁組、協議離婚、婚姻、協議離婚等)において本人と確認できなかった場合は、届出が受理されたことを通知します。また、縁組などの届出を受理しないようあらかじめ申し出をすることができます。

▼問合せ 住民課戸籍年金係
(☎ 23 - 2463)

廃 止

3月31日をもって 「広場ゆとりっち」を廃止

多目的広場として町民の皆様幅広くご利用いただきました対面の「広場ゆとりっち」は、3月31日をもって廃止しました。

▼問合せ

農林課農務係 (☎ 23 - 3091)

検 査

小型はかり定期検査の 事前調査訪問

町内で事業を営んでいるのうち、小型はかり(能力が1t未満)を取引や証明に使用している場合は、2年に一度の検査が義務づけられています。

▼検査予定日 5月26日、27日

▼検査機関 北海道計量検定所

▼事前調査訪問 町では、小型はかりの内容を把握するため、4月中旬頃から職員が各事業所を訪問しますので、調査にご協力をお願いします。

▼問合せ 環境生活課町民生活係
(☎ 23 - 3209)

都 市 計 画

まちづくり交付金事業 評価結果を公表しています

幸町土地区画整理事業区域内で行ったまちづくり交付金事業の評価結果を、町ホームページ、役場窓口で公表していますので、ご覧ください。

▼詳細

都市計画課区画整理係
(☎ 23 - 3198)

困ったときの納税Q&A

Q ついっかりしてしまい、残高不足のため国民健康保険税の口座振替ができませんでした。

A 納期限後に納付書をお送りしますので、金融機関の窓口で納めてください。再振替は行っていませんので、納期近くになりましたら、口座の残高確認をお願いします。詳しくは、納税係までお問い合わせください。

▼夜間納税相談

毎月第2・4木曜日 19時30分まで

▼問合せ 納税課 (☎ 23 - 2341)

都 市 計 画

当別幸町土地区画整理事業 宅地を分譲します

次のとおり募集しますので、申し込みください。

▼場所 幸町

▼面積 343.83㎡
(104.01坪)

▼価格 7,186,000円
(20,900円/㎡)

▼分譲方法 抽選方式

▼受付期間 4月1日～21日

▼申込・詳細

都市計画課区画整理係
(☎ 23 - 3198)





4月からスクールバスに地域の方も乗車できます

小中学校の児童生徒の通学目的に運行しているスクールバスに地域の方が乗車できるようになります。

児童生徒が乗降している停留所およびJRの駅から乗降車ができます。

1年間の試行運行のため、来年3月末まで無料です。

乗車を希望する場合は、必ず前日の午後4時までに教育委員会へご連絡ください。なお、乗車定員数以上の場合は、乗車をお断りする場合があります。

▼運行時間 登校時1便、下校時に午後2時台と午後3時台に各1便。

※各学校の日課に合わせて時間を決定しているため、毎日定時運行をしているわけではなく、目安としての時間です。

▼運行日 4月7日から学校の授業がある日（休業日は、土・日曜日、祝日、夏・冬・春休み、開校記念日、臨時休校などです。）

▼運行路線

◎通年運行

当別小・中学校	上当別、金沢、中小屋、蕨岱、東裏
西当別小・中学校	高岡
弁華別小・中学校	弁華別

◎冬期間運行

当別小・中学校	川下
西当別小・中学校	川下

▼連絡・問合せ先 町教委管理課学校教育係
(☎ 23 - 2689)



地域総合型スポーツクラブ会員募集

～みんなで創る地域のクラブ～

当別総合型地域スポーツクラブは、「当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」が主体となって、スポーツを通じて、みんなで「健康・体づくり」はもちろん、人と人とのつながり・コミュニケーションを大切に、みんなで良い「まちづくり」を目指す『みんなで作る・みんなのため』のスポーツクラブです。

会費を負担するだけで登録できます。

◆こんな事業を企画しています

- ①**定期教室** スナッグゴルフ・キンボール・ティーボール・ドッジビーなど
- ②**不定期教室** 登山・サイクリング・そば打ち教室・お菓子作り教室など
- ③**交流事業** 体力テスト・スポーツ交流会

◆申込方法

総合体育館に備え付けの入会申込書に必要な事項を記入の上、年会費をそえて総合体育館まで申し込みください。

◆問合せ

町教委社会教育課スポーツ振興係
(☎ 22 - 3833)

◆会員区分と会費など

会員区分	年会費	定期教室	不定期教室	交流事業
幼児	1,000円	無料	300円	無料
小・中学生	1,500円			
一般	2,000円			
60歳以上	1,800円			
非会員	—	非参加	600円	500円

※1 保険料として、幼児、小・中学生は500円、一般、60歳以上は1,500円かかります。

※2 親子で会員になる場合、子どもの年会費が500円割引になります。



環境生活課からのお知らせ

補助しています コンポストなどの購入費

町は、生ごみの排出減量化のため、生ごみ堆肥化容器（コンポスト）や町内会を対象にごみステーション用ネットなどの購入費の一部を補助していますので、お申し込みください。なお、EM・電動生ごみ処理機の補助・申請受付は5月末日で終了します。

▼申込・詳細

環境生活課環境対策係
(☎ 23 - 2503)

平成 20 年度版を配布中 ごみ収集カレンダー

4月以降の収集日などを記載した「家庭ごみ収集カレンダー」を3月から配布しています。追加や未着の家庭は、役場本庁舎1階、太美出張所に備え置きますのでお持ちください。最終ページに記載の家電のリバリーセンターは廃業しました。

ごみは決められたステーションへ

ごみステーションは、利用者が町内会と協議し、位置の設定や管理をしていますので、よそのごみステーションへの排出は厳禁です。

社会教育課からのお知らせ

人材バンク～とうべつ知恵袋～ 利用者募集

町教委では、多彩な知識や技能を持つ地域の方々に“まちの知恵袋”として登録いただいています。町内会・子ども会・PTA・サークルなどで「学びたい、レクを企画したい、でも誰に教わればよいのかわからない」という場合はご希望に応じて講師をご紹介します。お気軽にお問い合わせください。

◆現在登録者している分野

パン・お菓子づくり、豆腐・味噌づくり、そばづくり、木工クラフト、天体観察、英会話、トールペイント、書道・ペン字、着物着装、ウォーキング、バランスボールなど

※講師として登録していただける方も募集しております。自らの知識や技能を活かしたい！という方、お待ちしております。

▼申込み・詳細

社会教育課社会教育係
(白樺コミセン内☎ 23 - 2511)

町高齢者学園ことぶき大学 入校生募集 (60歳以上の方)

趣味の講座や健康、生き甲斐づくりの講演会、見聞を広げる視察研修など楽しく学べる内容が盛り沢山です。お友達を誘い合ってお申し込みください。

▼期間 5月～平成21年3月

▼開校日

第2・第4金曜日 10時～12時

▼場所

白樺コミュニティーセンター
(講座の内容により開催日、場所が変更することがあります)

▼定員 40名

▼入学金 5,000円

(保険料、講師料、研修旅費含む)

▼申込期限

4月25日(金)

▼申込み・詳細

社会教育課社会教育係
(学習交流センター内
☎ 23 - 0573)

講習

障害者向けビジネス事務科 受講生を募集します

▼取得可能資格

情報処理技能検定 2・3級
日本語ワープロ検定 2・3級
文書デザイン検定 2・3級
ホームページ作成検定 2・3級

▼対象者 ハローワークに求職中の精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳保持者または、主治医の意見書が提出できる方)

▼募集締切 7月17日

▼選考日時 4月28日

面接、簡単なパソコン操作を行います。

選考場所は、募集案内を参照。

▼定員 10名

▼受講期間 5月14日(水)～8月28日(木)

▼申込み 最寄りのハローワーク

▼詳細・問合せ

北海道立札幌高等技術専門学院
(☎ 011 - 781 - 0559)

肝がん検診のお知らせ

肝がん検診団(団長 川西輝明:札幌緑愛病院)では、肝がんを早期に発見しようと検診活動を行っています。

▼検診日時

5月17日(土) 9時～13時

▼場所 新篠津村保健センター

▼費用 6,000円(先着50名)

▼検診内容 問診、採血、

腹部エコー、療養相談

▼受付方法 下記電話番号に平日の日中に連絡の取れる電話番号とお名前を録音ください。後ほどご連絡します。

▼申込み 肝がん検診団事務局

(☎ 011 - 350 - 1008)

▼受付期間 4月15日～5月8日

小児医療

小児救急電話相談の実施 日を増やします

道では、これまでの平日に加えて、4月5日から土曜日も小児救急電話相談事業を行うことになりました。

▼小児救急電話相談とは？

夜間における子供の急な病気やけがなどの際に、専任の看護師や医師が保護者などからの相談に対し、助言をします。

▼時間 午後7時～午後11時

▼電話番号 ☎011-232-1599

(プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは短縮ダイヤル「#8000番」も利用できます。)

祝日および年末年始(12月29日～1月3日)は除きます。

健診

拡大します 妊婦健診の費用助成

町では、安全に安心して出産を迎えることができるよう、妊婦健診費用の助成を1回から5回に増やします。また、全妊婦を対象に超音波検査の費用1回分を助成します。

▼対象者 妊娠中の方で4月1日以降に出産予定日の方。

①これから届出をされる方 母子健康手帳交付時に受診票を発行しますので、妊娠届出書を持参の上、下記窓口においでください。

②平成19年度中に届出をされている方 妊娠週数によって受診票を追加発行しますので、母子健康手帳を持参の上、4月30日(水)までに窓口においでください。来所の難しい方は電話にてお問い合わせください。

▼申請・問合せ 福祉課保健サービス係(ゆとろ内・☎23-2346)

復職支援

看護師の資格を活かして 働きませんか

看護職員が全道各地で不足しています。もう一度、資格を活かして働きませんか。

①ナースバンク事業

就職先を探している看護職員を募集している施設にナースセンターへ登録していただき、職業紹介をしています。

◆登録方法 ナースセンターへの来所・電話・郵送・ホームページ

②再就業のための体験研修

看護職の免許をお持ちで「また仕事につきたい」と考えているけれど、ブランクが長いなど不安がある方のために、道内の各施設の協力で看護技術の研修を行っています。研修は、随時行っており、受講は無料です。

◆対象者 ナースバンク登録者で1年以内に再就職の希望のある方

◆研修内容 看護技術の見学や実習(1～5日程度)

▼詳細・問合せ (社)北海道看護協会北海道ナースセンター
(☎011-863-6794
FAX011-866-2244 URL
http://www.nurse-center.net)

献血にご協力を

16歳から69歳までの健康な方なら、どなたでも献血できます。※65歳以上の方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方

▼日程 4月16日(水)

▼場所・時間

①下段モータース(樺戸町)

9時30分～11時30分

②役場(白樺町)

12時30分～14時30分

③JA北いしかり西当別支所

15時～16時

子育て支援センター情報

各事業の申し込みは不用です。開催時に随時受け付けます。

◆あそびのひろば

10時～11時30分

▼こりす・うさぎコース

(1歳6か月～就学前)

会場 ゆとろ(全て火曜日)

8日・15日・22日

▼キャロット(1歳6か月～就学前)

会場 ふとみ保育所(全て水曜日)

9日・16日・23日

◆ミニトマトクラブ(乳児支援)

10時～11時30分

10日(木) ゆとろ

24日(木) ふとみ保育所

※妊婦さんも遊びに来てください

◆サロン(0歳～就学前対象)

10時～11時30分

わんぱくサロン

会場 子どもハウス

毎週月・水曜日

すみれサロン

会場 ふとみ保育所

毎週金曜日

◆第1回子育て講座

日時 4月22日(火)10時～11時30分

場所 ゆとろ

内容 トールペインティング

申込 4月15日迄 定員20名

▼詳細・申込み 子育て支援係

(ゆとろ内・☎25-2658)

友遊会ボランティア募集

外出する機会が少ない高齢者を対象に、月1回開催している「友遊会」(P25)の準備会での企画や、当日の進行などのお手伝いに参加してくれるスタッフを募集しています。

あなたも仲間になりませんか？

▼詳細 町ボランティアセンター

(☎22-2301)

花に関する相談はフラワーマスターへ

町では、美しいまちの実現のために花を活かしたまちづくりを進めています。現在、町内で6名の方（荒戸恵子さん・佐藤さよ子さん・菅純子さん・高木馥美さん・長尾正枝さん・森本茂さん）がフラワーマスターの認定を受け、花やガーデニングへの助言、指導などの活動を行っています。

個人や団体でアドバイスを受けたいという要望があれば、ご連絡ください。派遣は、事務局を通じてフラワーマスターに要請します。

◆**申込先** とうべつフラワーマスター連絡会
美しいまちづくり課 (☎ 23 - 3073)



美しいまちづくり推進補助金を交付します

町では「美しいまちづくり」推進のため、住民の自主的な活動を支援する補助金を交付します。

▼対象事業

①町管理の公共用地で行う事業

町管理道路、河川敷地内の並木・花壇の設置など

②公共用地以外で行う事業 農村景観整備のための植栽事業、遮蔽・並木・屋敷林など

③その他美しいまちづくりの推進に寄与すると認められる事業

▼**補助額** 1・2年目 事業費の1/2以内(限度額15万円)
3年目 事業費の1/3以内(限度額10万円)
4年目 事業費の1/4以内(限度額7万5千円)
5年目 事業費の1/5以内(限度額6万円)

▼**事業実施期間** 5年(公共用地以外の実業は2年)

▼**申込み** 美しいまちづくり課 (☎ 23 - 3073)

備え付けの申請書に所定の事項を記載し、4月21日(月)までに提出してください。

○●(年金)○● 読んで得する年金・国保のお話 ○●(国保)○●

《平成20年度の国民年金保険料は月額14,410円》

今年度の国民年金保険料は、定額で1か月14,410円、付加保険料は1か月400円です。また納付書で1年分・半年分(4月～9月分)をまとめて4月30日までに納めると、次の表とおりの割引となります。(単位:円)

納付方法	期間	月々納付	前納	割引額
定額保険料	1年分	172,920	169,850	3,070
	半年分	86,460	85,760	700
定額+付加保険料	1年分	177,720	174,560	3,160
	半年分	88,860	88,140	720

《**学生納付特例制度**》 20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。納付が困難な場合は、学生納付特例制度を申請すると保険料の納付が猶予されます。

《**若年者納付猶予制度**》 30歳未満の方であって、本人と配偶者の収入が一定額以下の場合に、申請により国民年金保険料の納付が猶予されます。

上記制度の手続きは戸籍年金係窓口でできます。代理の方の場合は印鑑、学生の方は学生証が必要です。これらの制度の申請を行わず、保険料が未納のままだと、障害基礎年金等を受けることができなくなりますのでご注意ください。

《基本健康診査が特定健康診査に変わります》

平成20年度から医療制度改革に伴い、基本健康診査が特定健康診査に変わります。今まで町の基本健康診査を受診していた人は、受診前に必ず自分の加入している医療保険者に、健診の内容等を確認してください。

町が実施する特定健康診査は6月から始まりますが、健診内容や日程等は、広報とうべつ5月号で詳しくお知らせします。

40歳～74歳の当別町国民健康保険加入者には、健診案内を5月中に個人通知します。

75歳以上の人は、北海道後期高齢者医療広域連合の委託を受け、6月から町内医療機関で行う予定です。

▼年金・国保に関する問合せ

住民課戸籍年金係 (☎ 23 - 2463)

国保・後期高齢者医療係 (☎ 23 - 2467)

●**役場窓口年金相談日** 4月7日(月)・14日(月)
住民課戸籍年金係へお気軽にお越しください。

●年金保険相談所(札幌北社会保険事務所)

4月21日(月)10時～15時 商工会館

※年金保険相談に代理人の方が行く場合は、委任状・身分証明書が必要になります。なお、委任状の書式は任意ですが、戸籍年金係にも用紙があります。

寄付

☆当別町社会福祉協議会へ

- ▼庵義隆さんから10万円
- ▼藤田俊充さんから5万円
- ▼徳能百合子さんから3万円
- ▼吉尾ミヨ子さんから3万円
- ▼当別町カラオケ連合会から3万円
- ▼高木馥美さんから2万円
- ▼匿名の方から2万円
- ▼棚橋美笑子さんから手作り小箱100箱
- ▼湯浅愛子さんから手作り小箱130箱 爪楊枝入れ54本
- ☆社協「愛の小箱」へ
- ▼「スーパーみつはし」から4281円

相談

法律相談

町の顧問弁護士が、皆様の相談に応じます。

- ▼日時 4月3日(木)
13時30分～
- ▼申込 福祉係 (☎23-3019)

介護相談

介護や高齢者虐待に関する相談に応じます。

- ▼日時 月～金曜日
8時45分～17時15分
- ▼申込み 地域包括支援センター (☎25-5152)

心配ごと相談

4月から月1回になります。
心配や悩み相談を受け付けます。
(毎月第4木曜日)

- ▼日時 4月24日
13時～16時
- ▼申込み 社会福祉協議会 (☎22-2301)



交通安全情報

平成20年春の全国交通安全運動

4月6日から4月15日まで

当別町交通事故発生件数

(平成20年1月の人身事故累計)

	H20年	H19年	増減数
発生件数	18	12	6
死者数	0	1	△1
傷者数	26	16	10

飲酒運転を根絶しましょう！！

囲碁教室に参加ください

日本棋院当別支部(戸来武支部長)では、「平成20年度初心者囲碁教室」を開きます。

受講は無料ですので、囲碁を始めたい方・興味のある方は、気軽に参加ください。

- ▼対象 初心者・初級者(年齢不問)
- ▼日時 4月5日(土)～6月28日(土)
毎週土曜13時～16時
- ▼場所 白樺コミュニティーセンター
- ▼申込・詳細 佐々木 (☎090-1522-3001)

とうべつ消防まつり開催

◎防火標語 火は見てる あなたが離れる その時を

当別消防署では、火災の発生しやすい時期を迎えるにあたって、春の火災予防運動を実施し、消防まつりを通して防火対策の啓発を行います。

- ▼日時 4月26日(土)10時～
- ▼場所 当別消防署前



自衛官募集	募集項目	応募資格	受付期間	試験日
	幹部候補生	一般・技術 歯科・薬剤科	●大学卒業程度の学力を有し、20歳以上26歳未満の者(22歳未満は大卒(見込含)) ●大学院修士課程修了者(見込含)は、28歳未満(海上技術幹部候補生は、理学または工学課程修了者に限る) ●歯科は専門の大学卒(見込含)で20歳以上30歳未満の者 ●薬剤科は26歳未満、薬学修士取得者は28歳未満	4/1(火)～ 5/12(月)
	2等陸・海士(男)	18歳以上27歳未満	通年	受付時にお知らせします

▼詳細 札幌地方協力本部江別地域事務所 (☎011-383-8955)
役場環境生活課 (☎23-3209)

人の動き 3月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,330	人 (27人減)
世帯	7,759	世帯 (11世帯減)
男	9,441	人 (16人減)
女	9,889	人 (11人減)

HOT

コミュニケーション

閉校式で校舎に別れ

3月25日に東裏小学校で記念碑の除幕式と閉校式が行われました。同校は、明治34年に地元の方の教育にける情熱で東裏簡易教育所として開校し、105年間に延べ1,399名の卒業生を送り出してきました。記念碑には、「豊かな大地に夢実れ東裏の子」と碑文が彫られ、児童と地域の方が手を取り合って除幕しました。続いて行われた閉校式では、児童が長年にわたり東裏地域と共に歩んできた校舎へ感謝の気持ちを込めて「お別れの歌」を発表し、校舎へ別れを告げました。

4月からは、当別小学校で新しい仲間との学校生活が待っています。



思い出を胸に卒業式



3月は、町内の保育所、幼稚園、小中学校、高校などで卒業式、卒園式が開催されました。

児童生徒は、父母や先生が見守る中、卒業証書を受け取り、学校生活の思い出を振り返っていました。4月からは、希望を胸に新しい生活をスタートします。



広 告

当別開拓の歴史を学ぼう



当別開拓の歴史を振り返り、当時の生活を体感してもらおうと当別町歴史ボランティアが主催して「当別町開拓の歴史の軌跡」をテーマに展示会を開催しました。

会場のふれあい倉庫には、開拓期から昭和時代に使われていた、のこぎりや鋤などの農耕具や蓄音機のほか、昭和30年代当時の商店街の様子や水害との戦いなど、まちの歴史をたどるパネルが展示されました。来場者は、ひとつひとつの展示に足を止めながらじっくりと見ていました。(2月29日)

社会貢献賞(自治貢献賞)を受賞

受賞者 堀 梅治さん(藤岱町)



堀梅治さんは、昭和42年5月から平成19年4月までの40年間、当別町議会議員として文教厚生常任委員会などの各種常任委員会委員長や北石狩衛生施設組合議員、農業委員などを歴任し、当別町の振興発展に大きく貢献してきました。この功績が認められ、3月3日に開催された表彰式において高橋はるみ北海道知事より社会貢献賞を授与されました。



広 告

●今月の事業のごあんない

■申込・詳細 福祉課保健サービス係
ゆとろ内 ☎ 23-2346

対象	開催日	事業概要【会場・日時】
お母さんと乳幼児	9 水	ポリオ予防接種 【ゆとろ・13:00～13:30】
	10 木	ポリオ予防接種 【西コミ・13:00～13:30】
	14 月	歯科健診・フッ素塗布 【ゆとろ・9:30～11:30】
	16 水	ポリオ予防接種 【ゆとろ・13:00～13:30】
	18 金	1才8か月・3才児健診(対象者へは個別に連絡) 【ゆとろ・13:00～14:00】
成人向け	随時	基本健康診査【町内医療機関で実施】 (血液検査、血圧、心電図など)
	10 木	センター検診【ゆとろ・7:55～8:10】
	21 月	友遊会 外出機会の少ない高齢者対象 【ゆとろ・10:00～12:00】
	22 火	かすみ草のつどい 外出機会の少ない高齢者対象 【西コミ・10:30～14:30】

【5月の予定】

8 木	センター検診	西コミ	7:55～8:10
9 金	4か月・10か月児健診	ゆとろ	13:00～14:00
9 金	BCG 予防接種	ゆとろ	14:00～14:30



町内医療機関

●=受診可 ×=受診不可

		基本 健診	こども 個別予 防接種
勤医協当別診療所	☎ 23-3010	●	●
さわぎき医院	☎ 25-2055	●	●
近藤医院	☎ 23-2021	●	●
太美中央医院	☎ 26-2332	●	●
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎ 25-3151	●	●
とうべつ内科クリニック	☎ 22-1313	●	×
北海道医療大学 歯科内科クリニック	☎ 23-1604	●	×
堀江病院	☎ 22-3111	●	×

- ◆予防接種は各医療機関で接種してください。(要予約)
- ◆母子健康手帳を持参のうえ、事前に予防接種ガイドブックを読みましょう。

廃止・変更になる事業のお知らせ

I 廃止する事業

- ①妊婦さんに対するマタニティスクール
- ②ヘルスアップ事業

なお、各種相談は随時受け付けています。

II 変更になる事業 基本健康診査

4月1日から新しい健診制度が始まり、基本健康診査は、生活保護を受けている方を対象とします。

広 告

- ◆ 平日 19時～21時
- ◆ 土曜 14時～17時
- ◆ 日曜・祝日 9時～12時・14時～17時

日	月	火	水	木	金	土
		4/1 堀江	2 堀江	3 堀江	4 堀江	5 とうべつ
6 さわざき	7 近藤	8 勤医協	9 スウェーデン	10 堀江	11 堀江	12 堀江
13 とうべつ	14 さわざき	15 近藤	16 勤医協	17 スウェーデン	18 堀江	19 堀江
20 堀江	21 とうべつ	22 さわざき	23 近藤	24 勤医協	25 スウェーデン	26 堀江
27 とうべつ	28 さわざき	29 近藤	30 勤医協	5/1 スウェーデン	2 堀江	3 堀江
4 堀江	5 とうべつ	6 さわざき	7 近藤	8 勤医協	9 スウェーデン	10 堀江
11 堀江	12 堀江	13 堀江	14 さわざき	15 近藤	16 勤医協	17 スウェーデン

【各種相談お受けします】

心の健康相談	心の悩みについて専門医が相談 4月25日(金)13:30～16:00 会場 江別保健所 ・申込・詳細 ☎ 011-383-2111 (江別保健所)
断酒会	お酒で悩んでいる方とその家族 毎月第1・第3月曜日 18:00～21:00 会場 ゆとろ ・申込・詳細 日中 ☎ 011-383-2111 (江別保健所) 夜間 ☎ 22-2510 (工藤)



はしかにさせない！広めない！

◆昨年、20歳前後の若者を中心に麻しん（はしか）が発生・流行したことにより、全国で高校・大学などの休校が相次ぎました。

麻しんは麻しんウイルスによって感染し、風邪と似た症状から始まります。主な合併症に脳炎、中耳炎、肺炎などがあり、感染力が強く免疫がなければ、子どもから大人まで誰でもかかる病気です。免疫の獲得には予防接種が有効な方法で、麻しんをなくすためには接種率を95%以上に上げる必要がありますが、当別町の平成18年度定期予防接種率は約80%となっています。

このため、町では、麻しん風しんの定期予防接種を以下のとおり行っています。いま一度、お子さんの接種歴をご確認ください。

◎第1期 1歳～1歳11か月まで

1歳のお誕生日を迎えたら、予防接種を忘れずに！

◎第2期 小学校入学の前年度

◎第3期 中学校1年生相当

◎第4期 高校3年生相当

※第3・4期は、今年度から平成24年度までの期限付きです。対象者には個別通知していますので、町内の委託医療機関で予約の上、受診してください。
※上記の時期以外の方へは、自己負担で予防接種を受けられる医療機関の情報を提供していますので、お問い合わせください。

▼詳細 福祉課保健サービス係
(ゆとろ内・☎ 23-2346)

広 告

Town Topics

タウン トピックス

まちの話題

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。
お申し込み
情報課広報広聴係 (Tel.23-3069)



スウェーデンと当別の絆を深める

3月20日 ふれあい倉庫・レクサンド記念公園

スウェーデン・日本友好国会議員団16名が、来日・来道を契機に当別町を訪れ、スウェーデンヒルズ、レクサンド記念公園などを視察しました。

ふれあい倉庫で開催された歓迎昼食会では、日本舞踊を披露したり、昨年レクサンド市より導入した窯で焼いたスウェーデンパンを囲み、和やかに懇談が行われました。また、映像を使いレクサンド市との交流の歩みを紹介したほか、自然豊かでスウェーデン色あふれる当別の魅力をPRしました。



今年のお酒はどんな味？

3月26日 ふとみ銘泉万葉の湯

当別町の有志でつくる当別米で酒造ろう会主催による、新酒発表会2008が開催されました。

平成12年に第1号が発表されてから今年で9年目。当別産の酒米で造った「当別のお米でできたお酒」特別純米吟醸酒の発表には、今年一番に新酒を味わおうと、会場のふとみ銘泉 万葉の湯には町内の関係者、日本酒ファンや入浴客らが発表会に参加し、それぞれの舌を楽しませていました。



当別の魅力を発信しよう

3月15日 田西会館

地元で生産された食材を使った農産加工品に着目して当別の魅力を全国へ発信しようとする「当別食の交流会」が開催されました。

会場では、トマトジュースやにんじんジャム、フルーツやハムなど、出品者自慢の商品が並び、自ら積極的にPRをしながら来場者に取り分けていました。試食を終えた参加者は、「こんなに地元の商品があるとは知らなかった。自分でも当別の食の魅力を発信していきたい」と話していました。

編集・発行 当別町企画部情報課 広報「とうべつ」4月号 平成20年4月1日発行 通巻655号

ホームページ 町 <http://www.town.tobetsuhokkaido.jp/> 町教委 <http://www.town.tobetsuhokkaido.jp/kyou-kyouikuhtm>